

# Key Person

各界のキーパーソンたち——



(有)今泉大伸 代表取締役

## 今泉 憲一

「困っているときに助けてくれる人はいますか」と、不意に問いかけてきた今泉社長。殺伐とした今の社会では、自分を優先する人が増えたが、それでは決して豊かな世は築けないのだと社長は語る。「人は一人では生きていけません。私自身これまで苦しいときが何度もありましたが、その度に誰かに支えてもらえたので今日まで歩んでこられたのです」。「情けは人のためならず」との言葉のように、人との触れ合いを大事にして支え合える関係の重要性を後進へと説いているのだ。社長のように善行の輪を広げていけば、皆が心豊かに暮らすきっかけを見出せるに違いない。

(対談記事は116～117頁に掲載)

「自分の力ではなく周囲の支えが  
苦しいときを乗り越えられる理由」



# ニッポンの ものづくり

産生  
日本

■人間関係を何よりも重んじている「今泉大伸」の今泉社長。現在はものづくり業界の現状を憂い、技術者養成学校の設立を目標に掲げて早期実現に向けた働きかけを行っている。そんな社長に岡本富士太氏がお話を伺った。

## 代表取締役 今泉 憲一

豊橋市出身。学業修了後は大手自動車会社に就職し、退職後にもものづくり業界へ入る。様々な技術を学び、現在につながる人間関係を築いた後、昭和56年に「今泉大伸」を創業した。



# 心が通い合う人間関係の大切さを説き 若い世代の意識変革に情熱を燃やす

岡本 まずは、独立までの歩みからお聞かせ下さい。

今泉 私はこの豊橋市出身で、社会人の第一歩は大手自動車会社の研究職でした。しかし、オイルショックの影響でそちらの部署が閉まることになり、それを機に以前から興味があったものづくりの世界へと飛び込んだのです。そして、小規模の製造会社に就職して

旋盤での加工作業や営業活動のノウハウを学んだ後、シリンダー製造メーカーとして「今泉大伸」を創業しました。現在は油圧シリンダーや油圧機品の製造、治具の製作などを行っております。岡本 大手企業から中小企業、そして経営者まで様々な道りを行ってこられる中で学んだことも多いでしょう。今泉 ええ。たとえば大手企業に勤め

ていたときに接していた人は、私が退職するとほとんど離れていきました。彼らは会社の看板を見て集まっていただけで、私個人とお付き合いをしていたわけではなかったからです。しかし、前職の小さな会社で培った人脈は今も継続しており、しかも色々と助けてもらっています。つまり、会社対会社ではなく、個人対個人でお付き合いをしてきたことが今につながっているのです。それらの経験で学んだのは、人にとって大切なのは勤めている会社の規模や地位、ましてやお金ではなく、人と人とのつながりであること。もちろん人間関係は一朝一夕では築けませんが、心の琴線に触れるとでも言いますが、一度会っただけで「この人とお付き合いがしたい」と思う人もいますよね。そんな心と心が結びつくような関係をたくさんの人と持てば、豊かな人生を送ることができると思っています。岡本 確かに会った瞬間からうち解けられる人もいますよね。特に趣味や考え方が同じ人は仲良くなりやすいよう





## 人間としての力がものづくりにつながる

▼ものづくり企業にとって、最も大事なものは技術力だと一般的には言われている。だが、「技術より人間力の育成が大事だ」と今泉社長は断言する。単に人から教わるだけでは身に付かないことも、周囲と切磋琢磨しながら取り組みやすく身に付くもの。つまり、本人の意識が一番大事なのだ。そしてその下地となるのが、礼節や礼儀、豊かな人間関係だと社長は考えているそう。「私は苦楽をともにできる人を大事にしてきましたし、それが今につながっています。若い世代にもこの重要性を説いていきたいですね」。社長の考えが広まれば社会の雰囲気は変わり、ものづくり業界も復興への道を歩み出すのではないだろうか。



に思います。

今泉 ええ。育ってきた環境や過ごした人生の中で築いてきたものが人との関係にも大きく左右すると思います。たとえば友人関係をとってみても、考え方が同じ人が集まっていることが多いでしょう。その例からも分かるように、自分と波長が合えば出会ってからの年月や年齢などに関係なく、自然と理解し合えるものなのです。そして、そういった関係があれば楽しみや苦みも分かち合えるような関係になれると思います。

岡本 確かにそうですね。特に困ったときに手を差し伸べてくれる人が本当の友人であり、本物の人間関係だと思います。今泉 そうですね。そうやって困ったときに助けてくれる人がいるかどうかで人の価値は決まるといいます。ありがたいことに、私自身もこれまで随分と人に助けてもらいましたし、人は自分で自分を支えられないのですから、持ちつ持たれつでなければ人間関係は成立しないのです。昔の人が「善徳を積む」と言ったように、人のために尽くせばいずれ返ってくるもの。ところが、現代社会はそういった気持ちが薄れ、人を蹴落としたり自分を優先させることが当たり前になってしまっています。だから人の心が貧しくなり、世の中がおかしくなっているのではないかと思うのですよ。まずは一人ひとりの心根を変えていかなければならないのではないのでしょうか。

岡本 なるほど。社長のおっしゃることは道理がありますね。

今泉 最近は学歴を気にする親が多いと言いますが、それだけでは心の育成がおろそかになってしまいます。他人に何を与えられるか、どんなメッセージを残すことができるかを大切にしなければ、人として虚無な人生になると思うのです。私自身、両親から教わった言葉を大事に

していますし、人生の後進たちにたくさんの思いを伝えていかねばならないと考えております。

岡本 スタッフの方たちにも普段から話しておられるのでしょうか。

今泉 ええ。挨拶や掃除といった人としての基本から教えています。ですから、技術の習得はその後になりますね。ただ、そうやって人を育てていくのは一企業では限界がありますから、私は人としての基礎と技術者としての基本を教えらるような学校を作ること目標にしているのです。

岡本 なるほど。ものづくりの仕事に就きたくてもどこに行けば良いのか分からない人も多いと聞きますし、業界の発展にもつながるでしょう。

今泉 ものづくりを教えている大学などもあるそうですが、金銭的な面で負担がかかります。かといって、中小企業では育成に限界があり、大手企業でも工場は海外に移転してしまっています。つまり、今の日本のものづくり業界では、上手く人材を育成できていないのが現状なので

す。その状況が続けば、日本のものづくりは衰退する一方。いわゆる団塊の世代が持っている貴重な技術を後進に伝えることが我々に課せられた使命であり、それが業界の発展にもつながっていくと信じています。

岡本 ものづくり大国日本のためにも、今後とも頑張って頂きたいです。

今泉 現在、様々なところへ訴えたり話を持ちかけているのですが、様々な障壁がありなかなか具体的に進められていません。このままでは中国や韓国に抜かれてしまう危険性もありますから、一日でも早く形にしたいと思います。その目標を叶える日まで走り続けていきますよ。

(2009年2月取材)



ゲスト

岡本 富士太

社会を生き抜く上で人間関係は何よりも大事だと今泉社長は語っておられました。振り返ると、私自身も周囲に支えられなければ今まで俳優を続けてこれなかったと思います。社長を見習って私も若者たちにつながるの大事さを伝えていきたいですね。

### COMPANY PROFILE

#### 有限会社 今泉大伸

【本社】愛知県豊橋市大岩町小山塚 62-28  
TEL 0532-41-8282 FAX 0532-41-8297  
【第2工場】愛知県豊橋市二川町北裏 1-59  
FAX 0532-41-8270